

口之津小学校 学校だより



希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和5年7月14日

5年度 第6号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

ご来校いただき
ありがとうございました

口之津っ子の心を見つめる
教育週間終了

6月26日から7月2日まで口之津っ子の心を見つめる教育週間として、本校の教育活動を公開しました。コロナ感染症拡大防止期間では、参観を制限させていただきましたが、今回は多くの方に見ただけできるよう制限を撤廃しました。学年別の授業参観日に保護者の皆様が来校されたのがほとんどでしたが、地域の皆様も来校いただきました。



授業参観は、全学年道徳を実施しました。題材はその学年の発達段階に合ったもので、子どもたちも真剣に考えていました。参観の保護者の皆様も静かに真剣に考えておられたのが印象的でした。

全校朝会では、私から講話をしました。司馬遼太郎氏の「二十一世紀に生きる子どもたち」を引用し、「支えあって生きていくためには、相手の心を感じる訓練が必要だ」という話をしました。

今回は、校舎ホールにおいて口之津町在住のイラストレーターkumoさんのイラスト展やSDGsパネル展など、例年と違った試みも行ったところです。地域と共にある学校だからこそ、多くの皆様に教育活動の実際を知っていただきたいと思っています。ご来校、ありがとうございました。

7月は、ココロねっこ運動強調月間です

7月と11月は、ココロねっこ運動強調月間です。ココロねっこ運動とは、子どもたちの心を育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てていこうという県民運動です。歴史は長く、20年以上継続されています。

保護者・地域の皆様は、いつも子どもたちを見守り支えていただけていますが、私たち教職員も含め、子どもたちに日々接している大人の考え方や価値観は、その知らず知らずのうちに伝わっていくものです。強調月間をよい契機として、大人のあり方を見つめ直し、連携を強固にして未来を担う子どもたちを育てていきましょう。



C・Sだより③ 小学校青少年健全育成協議会総会

7月4日（火）、小学校の青少年健全育成協議会総会が行われました。久しぶりの開催であったことから、会員の皆様の声を直接聴くことができました。その中でうれしかったことがありましたので、紹介します。

毎朝の交通指導をしてくださっている■■■■様から、子どもたちのあいさつについてお話がありました。「毎朝、子どもたちが元気のよいあいさつをしてくれるのは、本当にうれしいし、元気が出る。」とのことでした。毎朝、進んであいさつをしていることが、こんなふうを受け止められていることを教頭先生が後日、放送で全校児童に知らせてくださいました。



子どもたちや学校を起点に町が元気になっていただくことをめざしている中、私たちにとってもうれしい言葉でした。



対面で聞いて伝わるもの PTA読み語り

PTA文化委員会の計画による読み語りが始まっています。各教室で、対面の読み語りが実現しています。

昨年度までのリモート（放送）での実施と違い、対面での読み語りは、伝わるものが違います。読んでいる人の表情や声の抑揚、息遣いや視線など、子どもたちの五感に伝わります。子ども

たちも集中して聞いて感じています。文化委員の皆様には、朝のお忙しい時間帯ですが、しっかりと準備をしていただき、各学級で「語って」いただいています。ありがとうございます。

自転車大会出場に向けて

交通安全子供自転車長崎県大会が、今年度は実施されます。この大会に、口之津小学校の代表として4名の口之津っ子が選手になってくれました。選手になるということは、勇気があることですが、この4名は「学校を代表する」という意気に燃え、手を挙げてくれました。その気持ちをうれしく思いました。



大会までは、交通ルールに関する勉強や高度な乗車訓練等、大変な過程を経て本番に臨みます。現在、選手は、交通安全協会の方や自転車点検でもお世話になった荒木さんから指導を受け、毎日練習に励んでいます。最初は、フラフラしていた運転操作も次第に上達し、スラロームや一本橋もクリアするほどの上達ぶりです。選手を紹介します。

6年 ■■■■ さん 5年 ■■■■ さん
5年 ■■■■ さん 5年 ■■■■ さん

4名の選手を全力で応援しましょう。大会は8月1日、県立総合体育館です。

